

社会

日清・日露戦争と近代産業

- 1** 次のA～Dの文章を読んで、各問いに答えなさい。
- A 清政府に不満をもった民衆がおこした反乱から始まった革命運動は全国に広がり、多くの省が清からの独立を宣言した。これを( ① )という。( ① )の翌年、南京を首都に中華民国が建国され、臨時大総統には( ② )が就任した。
- B 朝鮮と清をめぐり対立を深めていた日本とロシアの間で、ついに( ③ )が始まった。しかし、日本は戦力や戦費が苦しくなり、ロシアは国内で革命運動がおこり、たがいに戦争を続けることが困難になった。その結果、アメリカの仲介によりポーツマス条約が結ばれた。
- C 韓国を併合した日本は、( ④ )を設置し、軍事力を背景に司法権や行政権を握り、韓国を支配した。
- D 列強による中国進出に反発した義和団が反乱をおこした。この反乱を日本やロシアなどの連合軍が鎮圧したが、これを機にロシアと日本は対立した。日本はロシアに対抗するため、イギリスと( ⑤ )を結んだ。
- (1) 文中の①・③～⑤にあてはまる語句を書きなさい。  
 ① ( ) ③ ( ) ④ ( ) ⑤ ( )
- (2) 文中の②にあてはまる人物名を書きなさい。また、その人物が唱えた思想を次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。  
 ア 帝国主義    イ 三民主義    ウ 資本主義    エ 社会主義  
 人物 ( ) 思想 ( )
- (3) A～Dを、年代の古い順に並べなさい。  
 ( ) → ( ) → ( ) → ( )

- 2** 近代の文化について、次の文章に合う人物を下の〔 〕から選び、書きなさい。
- (1) 日露戦争に出征した弟を思い「君死にたまふことなかれ」という詩を発表した歌人。 ( )
- (2) 「日本の細菌学の父」ともいわれ、ドイツ留学中に破傷風の血清療法を発見した。帰国後、伝染病研究所を設立した。 ( )
- (3) フェノロサと共に日本画の復興に努め、東京美術学校(のちの東京芸術大学)の創立に大きく貢献した。 ( )
- (4) 独学で医学を修め、黄熱病の研究をした。現在(2013年)の千円札の肖像にもなっている。 ( )
- (5) 近代社会に生きる人々の心理や悩みを深く見つめた「坊ちゃん」や、文明批評を描いた「吾輩は猫である」などの作品が、現在でも親しまれている。 ( )
- 〔 森鷗外    高村光雲    黒田清輝    北里柴三郎    岡倉天心 〕  
 〔 志賀潔    夏目漱石    野口英世    与謝野晶子    樋口一葉 〕

組 番 名前

かかった時間 正解数  
分

- 1** (1)① 辛亥革命 (2) 人物 孫文 (3) 日露戦争 (4) 朝鮮総督府 (5) 日英同盟  
 (2) 人物 孫文 思想 イ  
 (3) D→B→C→A

- 2** (1) 与謝野晶子  
 (2) 北里柴三郎  
 (3) 岡倉天心  
 (4) 野口英世  
 (5) 夏目漱石

間違った問題を確認してみよう！

- 1** 次のA～Dの文章を読んで、各問いに答えなさい。
- A 清政府に不満をもった民衆がおこした反乱から始まった革命運動は全国に広がり、多くの省が清からの独立を宣言した。これを( ① )という。( ① )の翌年、南京を首都に中華民国が建国され、臨時大総統には( ② )が就任した。
- B 朝鮮と清をめぐり対立を深めていた日本とロシアの間で、ついに( ③ )が始まった。しかし、日本は戦力や戦費が苦しくなり、ロシアは国内で革命運動がおこり、たがいに戦争を続けることが困難になった。その結果、アメリカの仲介によりポーツマス条約が結ばれた。
- C 韓国を併合した日本は、( ④ )を設置し、軍事力を背景に司法権や行政権を握り、韓国を支配した。
- D 列強による中国進出に反発した義和団が反乱をおこした。この反乱を日本やロシアなどの連合軍が鎮圧したが、これを機にロシアと日本は対立した。日本はロシアに対抗するため、イギリスと( ⑤ )を結んだ。
- (1) 文中の①・③～⑤にあてはまる語句を書きなさい。  
 ①( ) ③( ) ④( ) ⑤( )
- (2) 文中の②にあてはまる人物名を書きなさい。また、その人物が唱えた思想を次のA～Eから一つ選び、記号で答えなさい。  
 A 帝国主義 イ 三民主義 ウ 資本主義 エ 社会主義  
 人物( ) 思想( )
- (3) A～Dを、年代の古い順に並べなさい。  
 ( ) → ( ) → ( ) → ( )

- 2** 近代の文化について、次の文章に合う人物を下の〔 〕から選び、書きなさい。
- (1) 日露戦争に出征した弟を思い「君死にたまふことなかれ」という詩を発表した歌人。  
 ( )
- (2) 「日本の細菌学の父」ともいわれ、ドイツ留学中に破傷風の血清療法を発見した。帰国後、伝染病研究所を設立した。  
 ( )
- (3) フェノロサと共に日本画の復興に努め、東京美術学校(のちの東京芸術大学)の創立に大きく貢献した。  
 ( )
- (4) 独学で医学を修め、黄熱病の研究をした。現在(2013年)の千円札の肖像にもなっている。  
 ( )
- (5) 近代社会に生きる人々の心理や悩みを深く見つめた「坊ちゃん」や、文明批評を描いた「吾輩は猫である」などの作品が、現在でも親しまれている。  
 〔 森鷗外 高村光雲 黒田清輝 北里柴三郎 岡倉天心 志賀潔 夏目漱石 野口英世 与謝野晶子 樋口一葉 〕